

## 令和3年度 認定こども園 さつきが丘幼稚園・学校評価

## 保護者アンケート結果

園児数 80 / 回答数 66 世帯 (82.5%)

A = そう思う

B = 少しそう思う

C = そう思わない

D = あまり思わない

評価項目		A	B	C	D	
園 経 営	1 教育方針や教育目標、教育活動に関する情報提供がなされていたか。	5 3	1 3	0	0	
	2 行事や活動において、保護者にその行事や活動のねらいなどを理解されるよう伝えていたか。	4 4	2 0	2	0	
	3 子どもを主体とした教育の継続に努めたか。	4 3	1 5	7	0	
	4 保護者・地域への園施設の開放を行っていたか。	3 1	2 2	1 1	2	
	5 安全における危機管理をしていたか。	4 6	1 8	2	0	
保 育 の あ り か た ・ 指 導	1 保育を参観する機会や教師と話をする場を適切に設けていたか。	3 8	2 1	6	1	
	2 教師は家庭と連携し、集団生活のルールや基本的生活習慣の指導を適切に行っていたか。	5 0	1 3	2	1	
	3 教師は思いやりや善悪の判断など、道徳性を育む指導を適切に行っていたか。	5 3	1 1	2	0	
	4 教師はひとりひとりの園児を理解し、個々の特性を尊重し伸ばす指導をしていたか。	5 0	1 4	2	0	
	5 教師は園児とよく遊び、笑顔でどの子どもも公平に接していたか。	5 7	9	2	0	
	6 教師は子どもや保護者に対して、適切な言葉づかいや対応をしていたか。また、子どものことについて相談に応じてくれたか。	5 9	6	1	0	
特 色	元 気 な 子	1 積極的に戸外遊びや運動遊びに取り組んでいたか。	4 7	1 4	4	1
	2 挨拶や日常の生活習慣をしっかり身につけ、安定した園生活が送れるような環境づくりをしていたか。	5 4	9	3	0	
	3 保育参観や行事等で、保護者に幼児の成長がわかるように取り組んでいたか。	4 3	1 5	8	0	
	4 健康で安全な園生活が送れるように、安全指導、保健指導に取り組んでいたか。	5 3	1 2	1	0	
あ る 教 育 活 動	感 じ る 子	1 自然や動植物との触れ合いをしながら、好奇心をいだいたりして、かかわれる環境をつくっていたか。	4 9	1 6	1	0
	2 感じたことや、思ったことを素直に言葉や身体で表現できるよう取り組んでいたか。	4 6	1 9	1	0	
	3 子どもの想像力や発想、個々の良さを認め、より発揮できるような機会や環境づくりをしていたか。	4 2	2 1	3	0	
た の し い な か ま	1 学級・学年の友達の中で、自分を肯定しながら、友達と安心してかかわり生活できるような環境づくりをしたか。	5 4	1 8	1	0	
2 異年齢の友達と親しみをもって、過ごしたりかかわれる取り組みをしていたか。	5 9	1 7	4	2		
3 互いを尊重し、思いやりや感謝の気持ちの育ちを学べる機会を作ってきたか。	5 4	1 8	2	0		
子 ど も の す が た	家 庭 で の 様 子	1 食事・着替え・排泄など、良い習慣が身につけてきたか。	5 8	6	2	0
	2 喜んで登園し、挨拶やマナー・ルールを理解し行ったり守ろうとしたか。	4 9	1 5	2	0	
	3 我慢することや思いやりの心、物を大切にする態度が育ったか。	4 0	1 8	7	1	
	4 自分のことは自分ですることができるようになり、考えや思いを自分の言葉で伝えることができたか。	4 2	2 1	3	0	

## 【 アンケート結果による評価と課題 】

おおむね全ての項目で、A・B評価がほとんどを得ているが、そう思わないとの回答も各項目にみられた。特に子どもの活動や保護者が、直接参加する行事等の機会が新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言での休園や、まん延防止等重点措置による登園自粛等で、教育保育活動が継続的に実施できなかったことが評価としてあった。

### 【 園経営に関する評価 】

ほとんどが園の教育方針などに理解をしていただき、子ども主体とした教育のあり方の情報提供等はしてきたが、地域の方の意見を聞くということは機会が得られずできていない。未就園児保護者対象の園庭開放や子育て支援活動は常に関心を寄せていただいている印象があり、コロナ禍でもホームページで情報を得ており問い合わせもよくある。引き続き情報の発信をこまめに行いたい。また、臨時休園中に在園児や保護者向けには、ブログや動画配信を行ったが、休園中に行ったクラス担任からの動画配信は視聴回数30～50％程度であった。保育の様子であるほうが視聴が多いため今後は回数を増やしたい。

危機管理については、防犯カメラが園児同士のトラブルや怪我等の検証に役立った。また外部の事故等で警察への協力もできた。衛生管理や環境整備は十分行えたが、今後も安全管理等注意点検を怠ることなく実施したい。

### 【 保育のありかた・指導 】

A・B評価がほとんどであったが、教師はどの子にも目を配り適切な対応をしていくことが求められるが、日々の活動の遂行にとらわれ偏ることがあったり、指導不足により十分に個々の特性を伸ばすことが出来なかった部分がある。保護者にとってはやや不安や不満があった方もいると理解し指導力の向上に努めたい。

保育参観は1回のみしか行えず残念であった。他の行事も日数や時間、参加人数を制限して実施したが、理解し温かく見守っていただいた。内容や方法などの反省点は今後に活かしていきたい。

### 【 特色ある教育活動 】

コロナ禍により制限が多く、季節や周囲の自然の環境を十分に使い、本園ならではの教育活動を行うことができにくかったが、なるべく機会を捉えて実体験できる環境の確保を心がけた。感じたことや、思ったことを表現することを日常生活の中では課題意識を高く持って実践するようにした。

### 【 子どものすがた・家庭での様子 】

生活習慣、挨拶やマナーなど個人差はあるが、家庭でも自分で行えるようにみている様子うかがえた。保護者からは園での様子や子どもから聞いたことなどを参考にしたり、『園だより』や『わんぱくつうしん』等での情報も取り入れているようである。家での時間が長くなり眠がうまくいかない様子も見受けられた。今どんなことをすれば良いのか、保護者同士の会話の機会が少なく不安を抱いている方もいる。

### 【 保護者の意見 】

思う存分に園生活を過ごさせてあげたかったが、コロナ禍の影響で行事の縮小など余儀なくされ、保護者も園での子どもの姿を見る機会が減り、残念であるが仕方がないのご意見がほとんどであった。クラス担任はひとりひとりの子どもと向き合い対応していた。何より幼稚園が大好きという子どもの様子に、安心して通わせることが出来た。コロナ感染の状況や行政からのガイドラインを守り、できる限りの情報発信をしていたことはよかった。